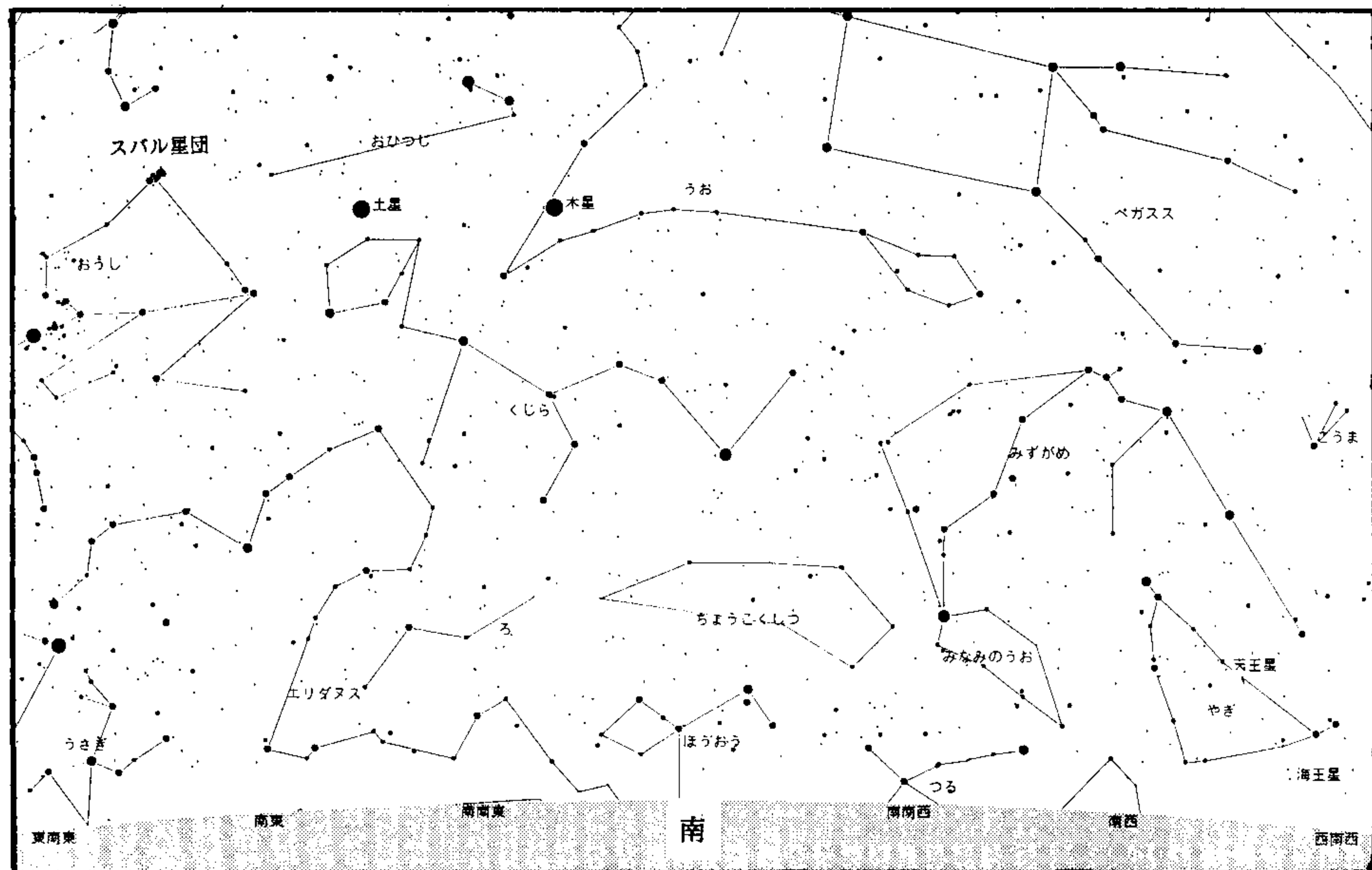


プラネタリウムへようこそ！

入間市児童センター 11月の星空（資料協力：児童センター天文ボランティア）



※上の星図は11/1の夜10時、11/15の夜9時、11/30の夜8時頃の星空です。

==<しし座流星群を見よう！>==

- ☆ しし座流星群は33年の周期で起きる天文現象です。今から2000年前のしし座流星群では1時間に100万個の流れ星が観測されました
- ☆ この流星の原因は彗星から出るチリが地球に衝突する時に起こるもので、日本では17日深夜～18日未明にかけて東の夜空で見えます。
- ☆ 【金星】明け方の空に、西方最大離角になった「明けの明星」が4.5等星で輝きます。
- ☆ 朝、太陽が出ても青空の中に肉眼で見えます。望遠鏡で見ると半月のように見えます。
- ☆ 【木星】うお座に移動した木星は、22時頃南中し一晩中、見ることができます。夜遅く南の空で一番明るく輝いている星が木星です。
- ☆ 双眼鏡で見ると木星の衛星が4つ見えます。

==<天体までの距離>==

- 私たちの見ている天体は、宇宙のとても遠い所にあります。児童センターの天文台で見える天体までの距離をいくつかあげると…
- ☆ オリオン星雲 → 1500光年
- ☆ 球状星団M13 → 24000光年
- ☆ アンドロメダ銀河 → 2300000光年
- ☆ 【土星】木星の左に見える土星はおひつじ座をゆっくり移動しています。望遠鏡を使用すると、美しい環を一晩中見ることができます。
- ☆ 【冬の星空】夜おそく、木星や土星が南の空から西へ傾くと、冬の星座である雄牛座やオリオン座が見やすくなります。土星の東側に6～7個の星が集まった部分がありますが、これが有名なスバル星団です。